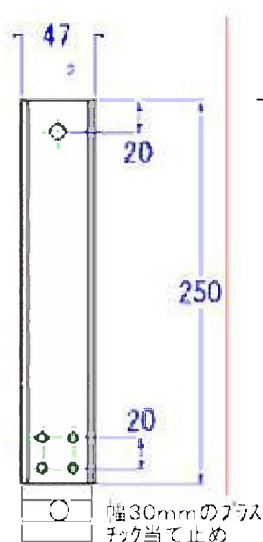


F900 トランサムドーリー取り付け説明書

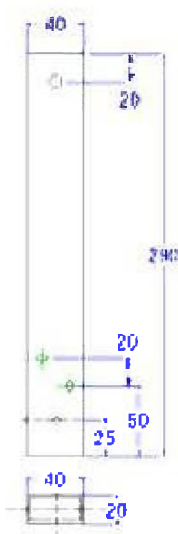
トランサムドーリーの取り付けにつきまして取り付け可能な船と出来ない船がございます、下記の注意を参照して下さい。

取り付に注意が必要な場合及び取り付け出来ない艇

- トランサムが上からみてカーブしている場合(ブラケットが斜めについてタヤがハの字になります) この場合斜めのスペーサーをブラケットの下に噛ませる(斜めのスペーサーは販売していません)
- トランサムが弱い場合(ブラケット取り付け部の強度を確認するか当て板を入れて補強して取り付けます)
- トランサム高さが下記の寸法より短いと取り付けできません。
- トランサムの内側(取り付け部内側)に手が入らない場合ナット等が締められないので付けられません。
- トランサムの幅が狭く本体がエンジンと干渉する場合付けられません。



全体で290mmの長さとなりますので、少し余裕みて320mmの取り付けスペーサーが必要となります。



FRP艇、アルミ艇、用嵩上げスペーサー別途販売しています、左図(ホルト入り)

厚さ20mmのアルミ角パイプです、トランサムのガネル(船の淵)が出っ張っている船に付けます。ガネルが30mm以上出ている場合は別途、木製のベース等製作する必要があります(下図写真)



用意する工具 ● 嵩上げキットは別途レンチ、ドリル等が必要です。

- ナドライバー
- スパナ(8mm用)もしくはレンチ
- シーリング剤(一番小さいチューブで可)
- ドリル+4mmのキリ(船によっては8mmも必要)



ブラケット本体取り付け
上穴は8mmのホルトです

ブラケット本体下部の取り付けは下穴4mmのタッピングビスです、嵩上げキット、その他自作取り付けの場合は6mmホルト(別途購入願います)にて取り付けとなります。